

あい・愛だより 11号

☆男女共同参画計画

☆名護市ファミリー・サポート・センター

☆子育て支援

編集・発行 名護市教育委員会 社会教育スポーツ課

沖縄県名護市港2-1-1(中央公民館内)

TEL(0980)53-5438(内線206・207)

★20年度女性フォーラム～やんばるの母と子の命を守るために～ 県立北部病院の役割

- 1.事業名 名護市各種団体女性代表ネットワーク協議会「女性フォーラム」
- 2.目的 本協議会は、女性を対象にした人材育成として、女性リーダー各種研修会の開催や、県外、国外等研修会の参加者に対する援子育て支援、福祉活動、男女共同参画活動を展開しておりますが、より一層の縦・横・面の充実を図り相互の連携を密にし又、市民への啓発活動の目的で女性フォーラムを行います。今回は地域医療の分野で母と子の命に関わっている専門家の方をパネリストに迎えました。パネリストの方々の考え思いをどのように地域へ繋いでいくのか(活かしていくのか)をフロアとの交流形式にしたフォーラムを行いました。
- 3.日時 平成20年12月5日(金)午後2:00～4:(4. 場所 名護市国際交流会館
基調講演…………… 命を育むまちづくり…柳 敏晴 名桜大学 教授
- 5.内容 体験者発表……………3名



コーディネーター・パネラーの皆さん



子どもはまかせて!!

- パネリスト 泉川良範 名護療育園施設長・医学博士
- フォーラム・コーディネータ大城真理子 県立北部病院病理科部長・医学博士
- 村田昌功 県立北部病院産科部長・医学博士
- 柳 敏 晴 名桜大学人間健康学部長・教授
- 宮城秀樹 名護市健康福祉部長



市長あいさつ



副会長あいさつ

村田先生:沖縄本島北部に周産期2次医療施設(産婦人科・小児科)が絶対必要です。そのためには沖縄本島北部に公的(自治体立等)総合病院が必要。産婦人科医師最低4名(本来5名以上)が必要だが現在沖縄県立病院間での産婦人科医師のやりくりは限界です。沖縄県内外から医師をやんばる名護に集める必要があります。働いてみたいと感じる環境整備・Hospitality:(親切にもてなすこと)歓迎すること(全国各地にもっと良い条件の病院があるかもしれないのに、よくぞ沖縄県立北部病院を選択してくれました)一肌脱いでみようと思える雰囲気Incentive積極的な協力体制をつくってください。(病院内の運用では限界あります)、住民は動き始めましたが、名護市等行政では?産業界では?(地域のアピールできるもので勝負)やんばる出身の妊婦さんが安心して里帰り分娩できる、周産期医療体制の確保が課題です。大きな目標・理想として、やんばると縁のない妊婦さんがわざわざ滞在しお産することを選びたくなる魅力ある環境構築が必要。里づくり分娩でお産した母と子にとってやんばるは、もはや単なる観光スポットではなく永遠の古里となる。そうならば、全国各地の産婦人科医師のあこがれの地域となり医師が集まる。やんばるはさらに活性化するでしょう。



司会を務める副会長



観客入る聴衆



会長あいさつ

『ているる』ってどんなところ?

『ているる』では…

男女共同参画社会づくりの一環として、啓発、学習、相談、情報提供、創造、

※ 名護市女性ネットでは、条例学習会を継続しています。

アンケート みんなはどう思ってる？



アンケートの結果

45名回収

- ① あなたの年齢は？（20代 30代 40代 50代 60代以上）
20代(5) 30代(9) 40代(7) 50代(9) 60代(15)
- ② あなたの性別は？（男性 女性）
男性(8) 女性(37)
- ③ 本日のフォーラムを何で知りましたか？（新聞 広報紙 チラシ 友人）
新聞(2) 広報(8) チラシ(3) 友人(7)
- ④ あなたの住んでいる地域は？（名護市 今帰仁村 本部町 国頭村 大宜味村 東村）その他
名護市(4) 本部 東(1) その他(3)
- ⑤ 本日のフォーラムについて満足されましたか？（大変満足 満足した やや不満足 どちらとも言えない）
満足(35) 満足(12) やや不満足(1)
- ⑥ 本日のフォーラムに対してご意見・感想を是非お願いします。

★ フォーラムの内容から・・・

- ・大変素晴らしい事業でした、又開催されますことを希望します。(50代)
- ・名護市民が安全な医療を受けるための情報が色々聞けてよかった、個々の健康管理や意識を高めて住民も協力していくことが大切だと改めて実感しました。(30代)
- ・人間出生から人生が終わるまで病院にお世話になります。これ以上我慢できなくて行く時は、判断して対応して下さる先生方の言葉かけで病気の半分は治ります、ありがたいことです。病院があるから安心して健康でいられます。(60代)
- ・これまでは妊娠出産については女性から聞くのが常でした、夫の立場から、体験発表を聞くことができ産婦人科の必要性をますます強く感じました。(50代)
- ・不安定な気持ちになりやすい妊娠期です、安心して産める産婦人科は、絶対に必要であります。若者が住みやすい環境、産婦人科があることは自然に活性化します。(50代)
- ★ 北部病院の実態が聞けて病院の状況をしることができた。(50代)

※ご協力ありがとうございました。

フォーラムの内容から・・・

大城先生：産婦人科がようやく再開したのに・・・ 県立北部病院がなくなる？ 公立病院・自治体立病院の特色公立病院は「住民の安心のため、平等で標準的な医療」が求められる。公立病院は社会的弱者のための病院、病院の個性や特色を出しにくい、「無色透明」「空気のような病院」、厳しい採算性は求められずに来た。 地域の病院

をダメにする 住民 2つのタイプ

1. 本格的な治療は他地域の病院で 2. 夜間、休日に軽症で受診いわゆる「コンビニ受診」

患者、住民が医師を育てますどんな名医も、患者さんの診療や手術をしないで腕が落ちます本格的な治療を受ける患者さんがいなければ（他地域に行くのであれば）北部で本格的な治療が受けられなくなります「地産地消」と同じ考え方で、地域の住民は地元の病院を受診しましょう、「地病地療」が大事です「なくなってから、はじめて北部病院のありがたみがわかった」ということになって欲しくありません。



大城真理子先生の発表



体験発表の名護麻記さん



二部の女性フォーラム風景

★ 参加者の声

○今日の機会を得たことに感謝です。参加して始めて病院のありがたさを感じたこれまで他人事にしか思えなかったが、これからはできることは協力していきたい。○大変有意義なフォーラムでした北部のみんなで聞いたかった今一度できませんか？北部のみんなで考えたいことです。○体験発表の3名の方は大変良かった。心に響く発表でした。



「女らしく、男らしくじゃなくて、自分らしく行こう!!!」

名護高校 大城まなみさん

名護市教育委員会社会教育スポーツ課

※ 名護市女性ネットでは、団体会員、個人会員を募集しています。

※ 名護市女性ネットでは、ているよりの仲介で男女共同参画に関する図書を貸し出しています。